２０２６年度

第８回

実装科学セミナー

演者：Jorge Osma 先生

（サラゴサ大学 心理学・社会学部門）

演題：エビデンスに基づく心理療法の実装科学 ― スペインのリアルワールド実践から学ぶ障壁・促進要因と実装戦略

座長：伊藤 正哉 先生

参加費 無料

２０２７年１月２８日 (木)

１６：００ ▶ １７：００

Web会議システム（Zoom ミーティング）

申込締切　２０２７年１月２８日 (木) １７：００

（セミナー終了まで）

✔ [講師プロフィール]

サラゴサ大学（スペイン）心理学・社会学部門 教授。エビデンスに基づく心理療法の研究を長年行っており、特に公的メンタルヘルスサービスにおける心理療法の有効性、費用対効果、普及・実装を研究している。専門精神医療、プライマリケア、大学、社会福祉、依存症・肥満・精神病圏の専門サービスなど、多様な現場における実装研究を進めている。

✔ [セミナー要旨]

エビデンスに基づく心理療法の有効性が研究によって示されても、それを実際の保健医療・社会サービスの現場に導入し、持続可能な形で定着させることは容易ではありません。

本セミナーでは、スペインにおけるエビデンスに基づく心理療法の実装研究とリアルワールドでの実践経験を紹介します。専門精神医療、プライマリケア、大学、社会サービス、依存症・肥満・精神病圏の専門サービス、さらに刑務所内のメンタルヘルスサービスなど、多様な現場での取り組みをもとに、実装を阻む要因と促進する要因、現場で得られた教訓、そして実装を成功させるための具体的な戦略と工夫について解説します。

お申込みはこちら

https://forms.cloud.microsoft/r/NTzuySsS1d

主催：国立がん研究センター がん対策研究所 行動科学研究部
N-EQUITY（健康格差是正のための実装科学ナショナルセンターコンソーシアム）*
*JH横断的事業推進費 実装科学推進基盤構築支援事業 〈JH事業-02〉 による
共催：保健医療福祉における普及と実装科学研究会（RADISH）
国立がん研究センター がん対策研究所 サバイバーシップ研究部
SaQRA（日本がんサバイバーシップ研究グループ）
東京慈恵会医科大学 がんサバイバーシップ・デジタル医療学講座

問合せ先：国立がん研究センター がん対策研究所 行動科学研究部 長尾・山口　impsci-sem@ml.res.ncc.go.jp

N-EQUITY